

資料編

1. 都市計画マスタープラン策定の経緯
2. 委員名簿
 - 1) 都市計画審議会委員
 - 2) 策定幹事会委員
3. 八千代町都市計画審議会条例
4. 八千代町都市計画マスタープラン策定幹事会会則
5. 町民の意向
 - 1) 住民意識調査結果の概要
 - 2) 小・中学生アンケート調査結果の概要
 - 3) 保護者アンケート調査結果の概要

1. 都市計画マスタープラン策定の経緯

時 期	会議名等	内 容
令和元年 7月31日～ 8月31日	住民意向調査	・ 標本数：3,000 票 ・ 回収数： 988 票 ・ 回収率： 32.9%
令和2年 5月21日	第1回 策定幹事会	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定について ・ 今後のスケジュールについて
6月18日	第1回 都市計画審議会	・ 会長選出について ・ 八千代町都市計画マスタープラン改定について ・ 今後のスケジュールについて ・ 臨時委員の委嘱について
7月15日～ 8月17日	町民からの意見募集	・ 八千代町第6次総合計画の策定について ・ 八千代町都市計画マスタープランの改定について
10月14日	第2回 策定幹事会	・ 地域別構想（案）について ・ 実現化の方策（案）について
10月22日	第2回 都市計画審議会	・ 臨時委員の選考について ・ 地域別構想（案）について ・ 実現化の方策（案）について
12月22日	県調整会議	・ 政策企画部、県民生活環境部、営業戦略部、 農林水産部、土木部、関係出先機関
令和3年 1月18日～ 1月29日	パブリックコメント	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定案について
2月4日	第3回 策定幹事会	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定版について
2月16日	第3回 都市計画審議会	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定版について
3月	議会報告	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定版について
3月	公表・県への通知	・ 八千代町都市計画マスタープラン改定版について

2. 委員名簿

1) 都市計画審議会委員

	氏名	役職	摘要
1	藤平孝雄	常総ひかり農協八千代担当理事	学識経験のある者
2	大久保武	八千代町土地利用審議会会長	〃
3	小竹節	八千代町農業委員会会長	〃
4	諏訪善作	八千代町商工会長	〃
5	生井和巳	八千代町議会議員	町議会の議員
6	大久保武	八千代町議会議員	〃
7	宮本直志	八千代町議会議員	〃
8	大久保敏夫	八千代町議会議員	〃
9	上野政男 (野村勇)	八千代町議会議員	〃
10	富澤実	下妻警察署長	関係行政機関もしくはは県の職員
11	白戸元文	常総工事事務所長	〃
12	高野尚子	女性団体連合会長	住民代表
13	古橋清成	コミュニティ推進協議会長	〃
14	大久保喜代子	食生活改善推進協議会長	〃
15	新井泉	町民会議議長	〃

※ () 前任者

2) 策定幹事会委員

	部・公室	課・局	氏名	摘要
1	秘書公室	秘書課	西村 良	(市村 隆男)
2	総務部	消防交通課	原部 光敏	(為我井 正)
3	企画財政部	まちづくり推進課	大林 伸光	
4		財務課	山口 富美子	(倉持 浩幸)
5	保健福祉部	福祉課	大久保 啓一	
6		長寿支援課	廣瀬 和宏	
7	産業建設部	産業振興課	内海 正明	(瀬崎 清一)
8		環境対策課	塚原 仁	
9		上下水道課	鴨目 定典	
10	—	農業委員会事務局	篠山 清美	(山崎 浩司)
11	教育委員会	学校教育課	篠原 真理	
12		生涯学習課	岩田 純子	
13	産業建設部	都市建設課	外山 勝也	

※ () 前任者

3. 八千代町都市計画審議会条例

八千代町都市計画審議会条例

平成13年9月10日
条例第21号

(設置)

第1条 都市計画法(昭和43年法律第100号)第77条の2第1項の規定に基づき、八千代町都市計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ次に掲げる事項について審議する。

- (1) 本町が定める都市計画に関すること。
- (2) 都市計画について本町が提出する意見に関すること。
- (3) その他町長が都市計画上必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、次に掲げる者につき、町長が任命する委員をもつて組織する。

- (1) 学識経験のある者 4名以内
- (2) 町議会の議員 5名以内
- (3) 関係行政機関若しくは県の職員 6名以内
- (4) 住民代表 4名以内

2 委員の任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 第1項第2号及び第3号に掲げる者につき任命された委員にあつては、その職を去つたときは、委員の資格を失うものとする。

4 委員は、再任されることができる。

(臨時委員及び専門委員)

第4条 審議会に特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員若干名を置くことができる。

2 審議会に専門の調査をさせるため必要があるときは、専門委員若干名を置くことができる。

3 臨時委員及び専門委員は、町長が任命する。

4 臨時委員は当該特別の事項に関する審議が終了したとき、専門委員は当該専門の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(会長)

第5条 審議会に会長を置き、会長は、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理する。

4 会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した委員がその職を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。ただし、委員の任命後最初に開かれる会議並びに会長及び前条第3項の会長があらかじめ指名した委員がともに欠けたときの会議は、町長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 会長は、委員及び議事に関係のある臨時委員の2分の1以上が出席しなければ開くことはできない。

4 会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(事務局)

第7条 審議会の事務局は、産業建設部都市建設課に置く。

(雑則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、町長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成17年条例第11号）抄

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。

附 則（平成28年条例第14号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成28年条例第16号）

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

4. 八千代町都市計画マスタープラン策定幹事会会則

八千代町都市計画マスタープラン策定幹事会会則

(名称)

第1条 本会は、八千代町都市計画マスタープラン策定幹事会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、八千代町都市計画マスタープラン改定のための調査研究を行い、計画案を策定し八千代町都市計画審議会に起案することを目的とする。

(構成)

第3条 本会の構成は次のとおりとし、産業建設部都市建設課長を委員長とする。

秘書公室	秘書課	1名
総務部	消防交通課	1名
企画財政部	まちづくり推進課	1名
	財務課	1名
保健福祉部	福祉課	1名
	長寿支援課	1名
産業建設部	産業振興課	1名
	都市建設課	1名
	環境対策課	1名
	上下水道課	1名
農業委員会事務局		1名
教育委員会	学校教育課	1名
	生涯学習課	1名

(会議)

第4条 本会の会議は、必要に応じ委員長が招集し議長となる。

(業務)

第5条 本会は、次の業務を行う。

- (1) 八千代町都市計画マスタープランに関する調査研究
- (2) 資料の収集、事情の聴取
- (3) 計画案の作成

(報告)

第6条 委員長は、本会において作成した計画案を八千代町都市計画審議会に起案する。

(事務局)

第7条 本会の事務を処理するため、産業建設部都市建設課に事務局を置く。

(委任)

第8条 この会則に定めるもののほか、本会の運営その他必要な事項については委員長が別に定める。

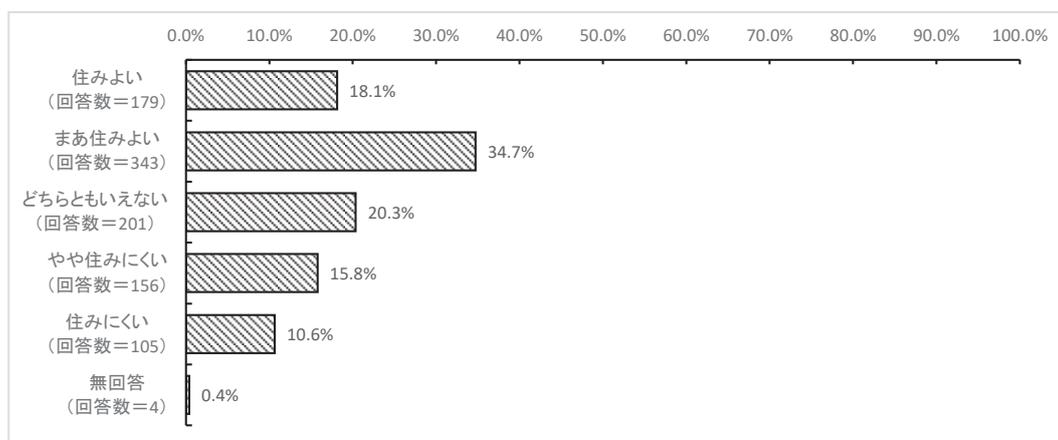
5. 町民の意向

1) 住民意識調査結果の概要

八千代町は、あなたにとって住みよいまちだと思いますか。

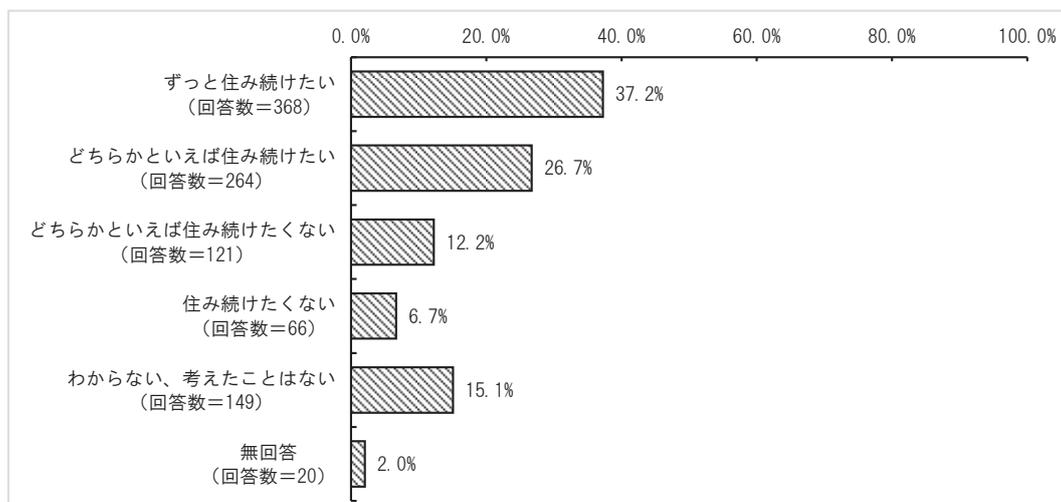
○『八千代町の住みよさ』については、「住みよい」「まあ住みよい」と感じている人が52.8%となっていますが、「住みにくい」「やや住みにくい」と感じている人が26.4%、「どちらとも言えない」と感じている人が20.3%となっています。

⇒「住みにくい」と感じている人のニーズを把握しながら、「住みよい」と感じることでできるまちづくりに取り組んでいくことが求められています。



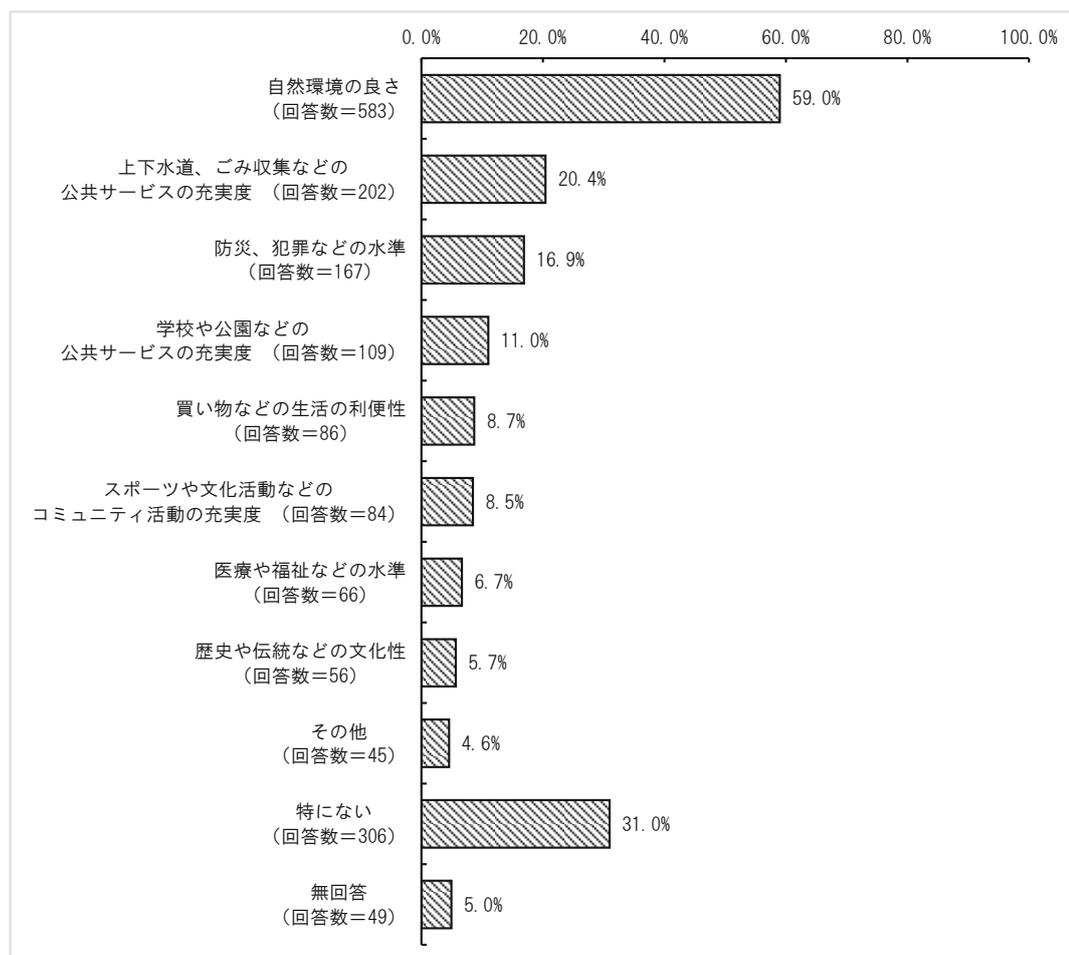
あなたは、今後とも八千代町に住み続けたいと思いますか。

○『八千代町への定住意向』については、「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と感じている人が63.9%で、「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」と感じている人が18.9%となっています。



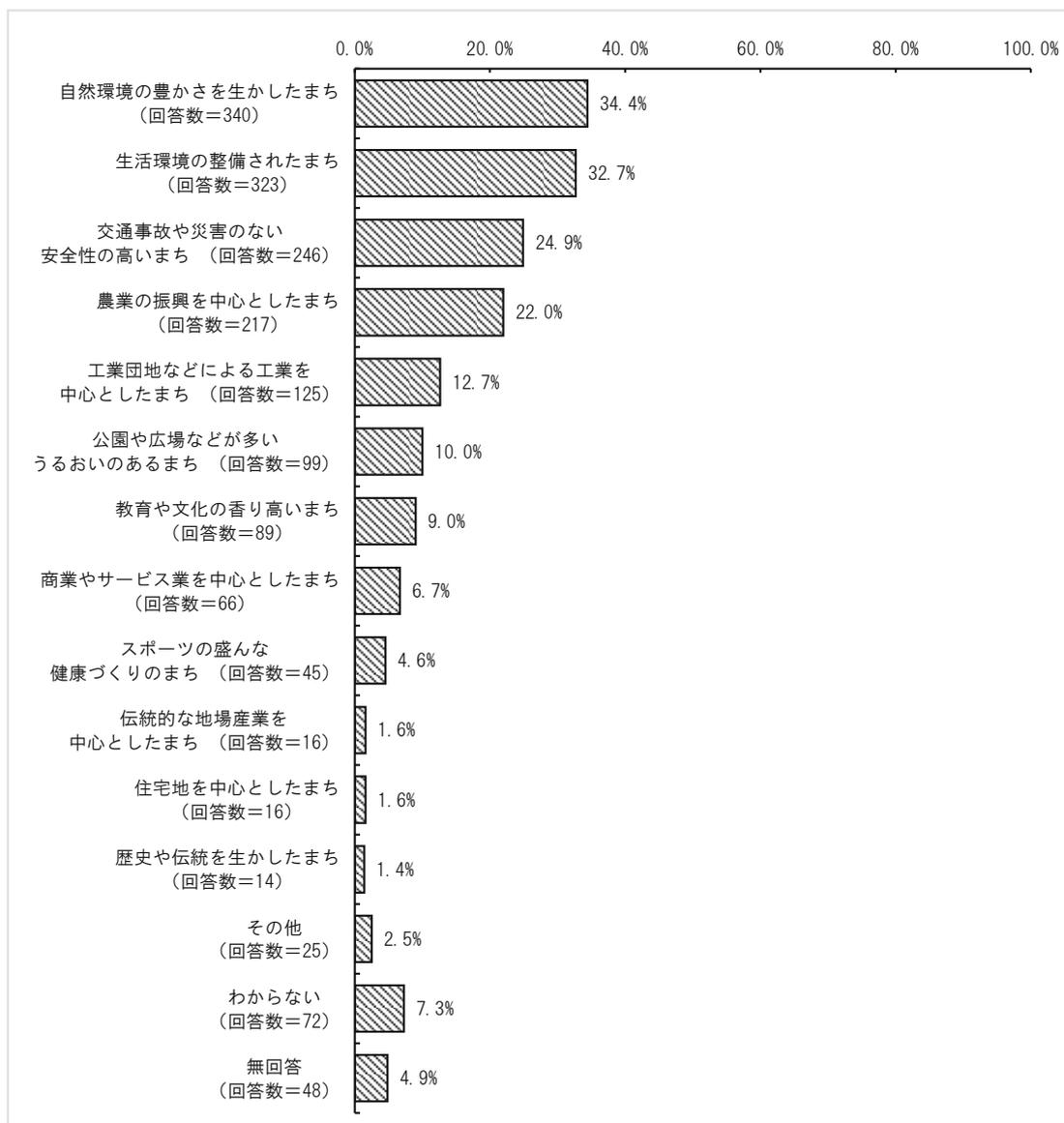
八千代町の誇りや自慢できるものは何ですか。
次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んでください。

- 『八千代町の誇りや自慢できるもの』については、「自然環境の良さ」が59.0%で最も高く、次いで「上下水道、ごみ収集などの公共サービスの充実度」が20.4%、「防災、防犯などの水準」が16.9%の順となっています。その一方で「特にない」と回答した人が31.0%となっています。
- その他記載では「農産品」、「図書館、資料館、中央公民館における生涯学習」、「都会のような忙しさはないので暮らしやすいところ」等があげられています。



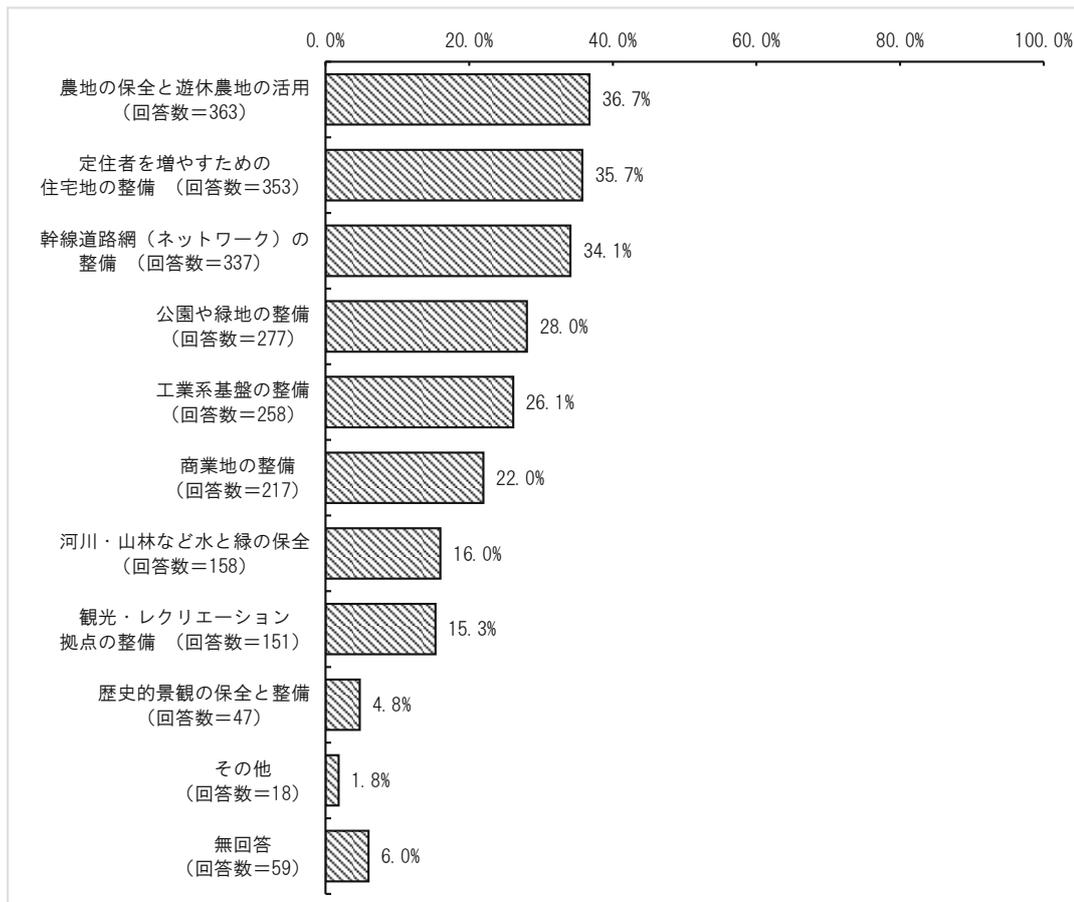
八千代町の将来はどのようなまちになると良いと思いますか。
次の中から、あてはまるものを2つ以内で選んでください。

- 『八千代町の将来像』については、「自然環境の豊さを生かしたまち」が34.4%で最も高く、次いで「生活環境の整備されたまち」が32.7%、「交通事故や災害のない安全性の高いまち」が24.9%の順となっています。
- その他記載では「障がい者にやさしい町」、「若い人が定住してくれる行政サービスがしっかりした町」、「外国人就労者を受け入れる環境が整っている町」等があげられています。



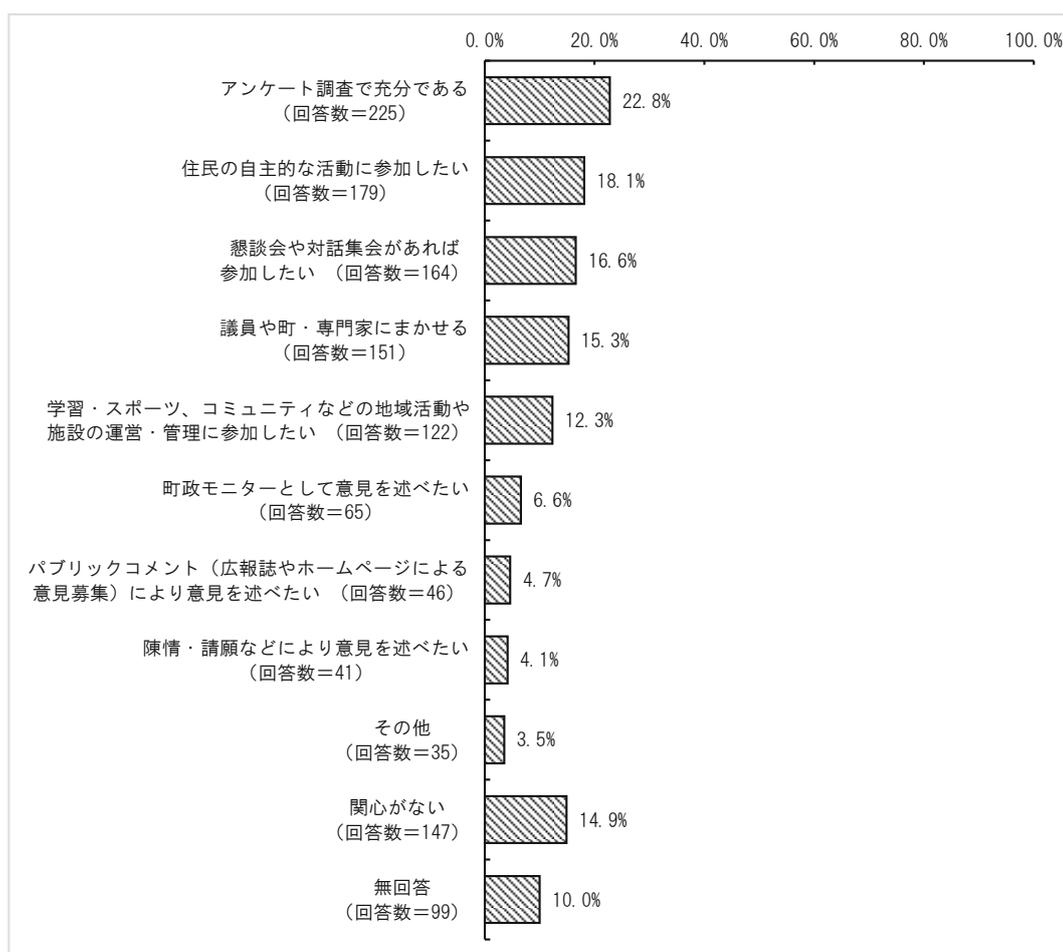
八千代町の今後の土地利用のあり方について、あなたが重要だと思う事は何ですか。次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んでください。

- 『八千代町の土地利用のあり方』については、「農地の保全と遊休農地の活用」が36.7%で最も高く、次いで「定住者を増やすための住宅地の整備」が35.7%、「幹線道路網（ネットワーク）の整備」が34.1%となっています。
- その他記載では「歩道の整備（自転車）」、「空家、空地対策・活用」、「雨天時の為の室内施設」等があげられています。



町政への参加については、どのような考えをお持ちですか。
該当する項目全てに「○」をつけてください。

- 『町政への参加』については、「アンケート調査で充分である」が22.8%で最も高く、次いで「住民の自主的な活動に参加したい」が18.1%、「懇談会や対話集会があれば参加したい」が16.6%、「議員や町・専門家にまかせる」が15.3%の順となっています。
- その他記載では、「八千代町のホームページに、町民BOX等を設け、民意を反映させていく」、「住民と協力した町づくりや観光の振興で成功している自治体を参考にする」等があげられています。



今後のまちづくりについての意見・提案

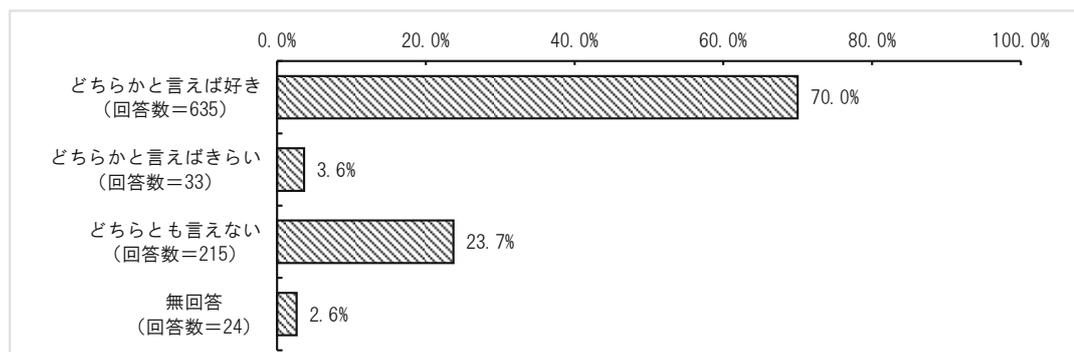
- 公共交通を充実させてほしい
- 治安のいいまちにしてほしい
- 店舗を充実させてほしい
- 外国人労働者と共存できるまちづくりが必要
- インフラを整えてほしい
- 空き家・空き地対策、利活用、整備
- 障がい児（者）にやさしいまちになってほしい
- 雇用の場を増やすため様々な企業を誘致してほしい
- 若者が増えるような（人口が増えるような）取り組みに力をいれてほしい

2) 小・中学生アンケート調査結果の概要

あなたは、八千代町が好きですか。

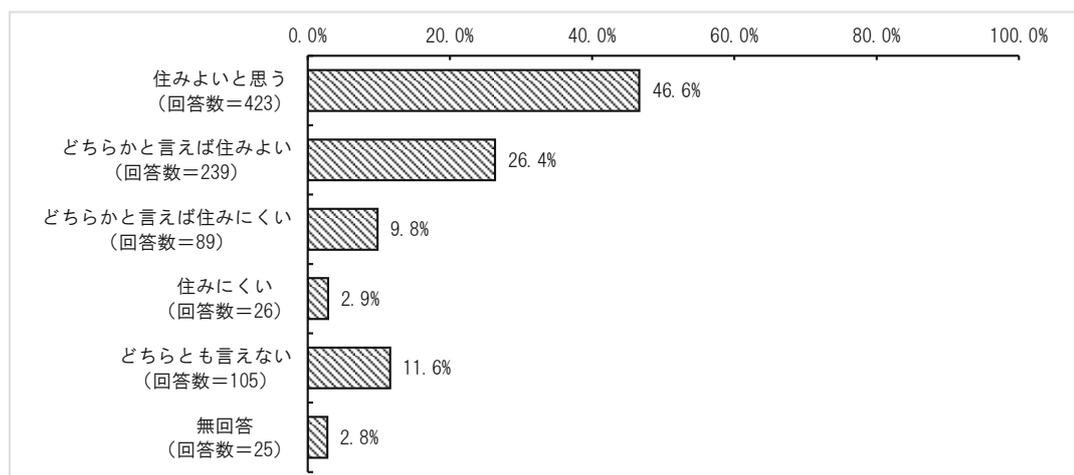
○『八千代町が好きか』については、70.0%の子どもたちが「どちらかといえば好き」と感じており、「どちらかと言えば嫌い」と感じている子どもたちの3.6%を大きく上回っています。

⇒より多くの子どもたちが、八千代町に対して愛着を持つことのできる取り組みを進めていくことが求められています。



あなたは、八千代町が住みよい“まち”だと思いますか。

○『八千代町が住みよいか』については、「住みよいと思う」「どちらかといえば住みよい」と感じている子どもたちが73.0%、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と感じている子どもたちが12.7%となっています。



八千代町が住みよい、または住みにくいと思う理由はなんですか。

■住みよい理由

- 野菜が安価、美味しい
- 自然が豊か、空気がきれい
- 静か
- 広い
- 人が優しい
- 自然災害が少ない
- 事故が少ない
- 東京に近い

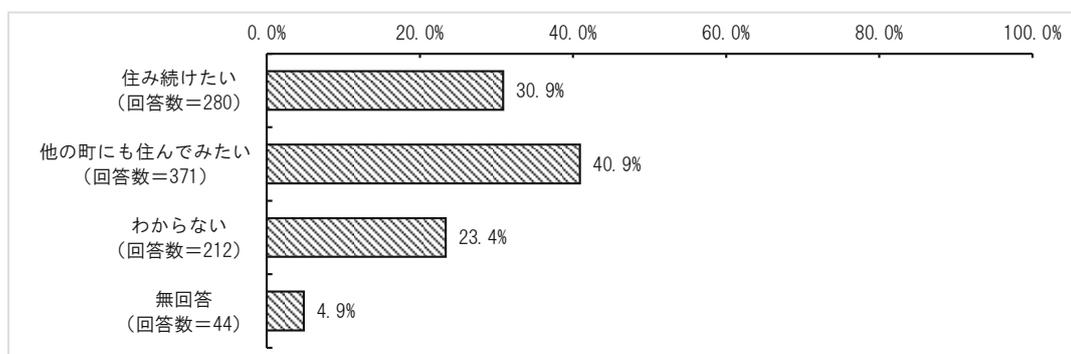
■住みにくい理由

- お店が少ない
- 駅が無い、交通が不便
- 遊ぶところ、公園がない
- 道が狭い、整備されていない
- 外灯が少ない
- ごみが多い
- 家や店など何もない場所が多く危ない
- 外国人がうるさい

あなたは、これからも八千代町に住み続けたいですか。

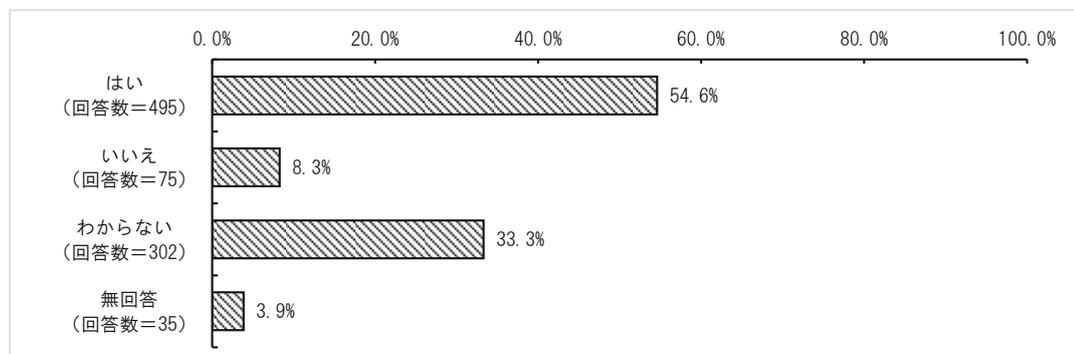
○『八千代町に住み続けたいか』については、30.9%の子どもたちが「住み続けたい」と感じていますが、「他の町にも住んでみたい」と感じている子どもたちが40.9%、「わからない」と回答した子どもたちが23.4%を占めています。

⇒「他の町にも住んでみたい」や「わからない」と回答した子どもたちが、八千代町に住み続けたい、または、一旦転出しても将来は戻ってきたいと感じることのできるまちづくりを進めていくことが求められています。



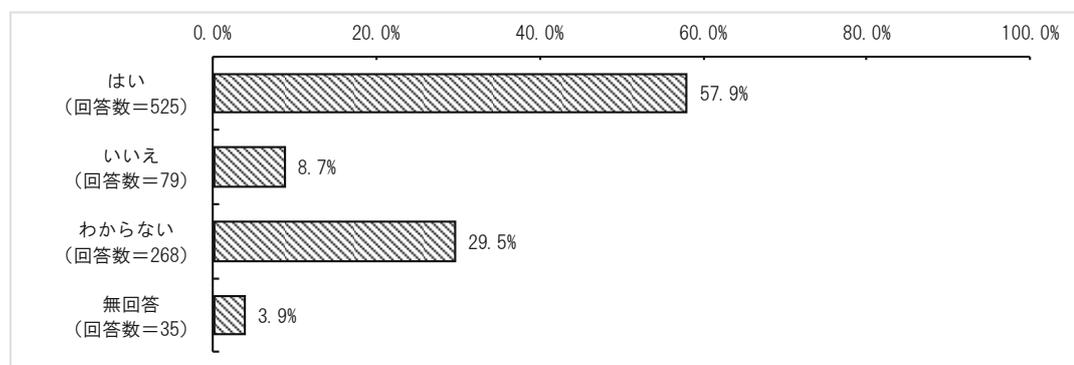
あなたは、将来、結婚したいと思いますか。

- 『将来、結婚したいと思うか』については、「はい」と回答した子どもたちが54.6%を占めており、「いいえ」と回答した子どもたちの8.3%を大きく上回っています。その一方で、「わからない」と回答した子どもたちが33.3%を占めています。



あなたは、将来、親になって子どもを育てたいと思いますか。

- 『将来、親になり子どもを育てたいか』については、「はい」と回答した子どもたちが57.9%を占めており、「いいえ」と回答した子どもたちの8.7%を大きく上回っています。その一方で、「わからない」と回答した子どもたちが29.5%を占めています
 ⇒子どもたちが親となり、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、子育て支援策等の充実を図っていくことが求められています。



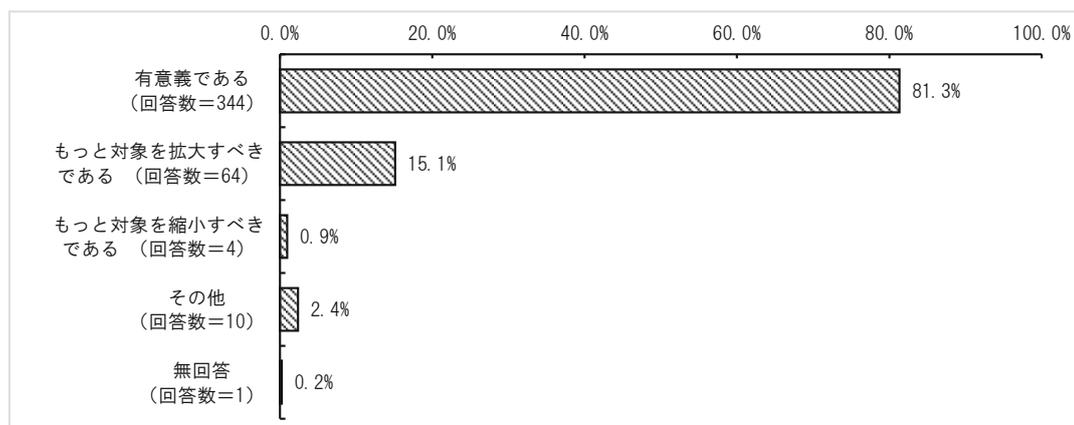
あなたは、将来、八千代町がどんなまちになってほしいと思いますか。

- 事件や事故のない町になってほしい。
- 何々1位など注目を受ける有名な町になってほしい。
- 技術などが進んだ町になってほしい。
- お店が増えて栄えた町になってほしい。
- 自然を大切にしながら、いま以上に自然を増やしてほしい。
- 人口が増えてほしい。
- きれいな町になってほしい。
- 平和な町になってほしい。
- このままでいい。

3) 保護者アンケート調査結果の概要

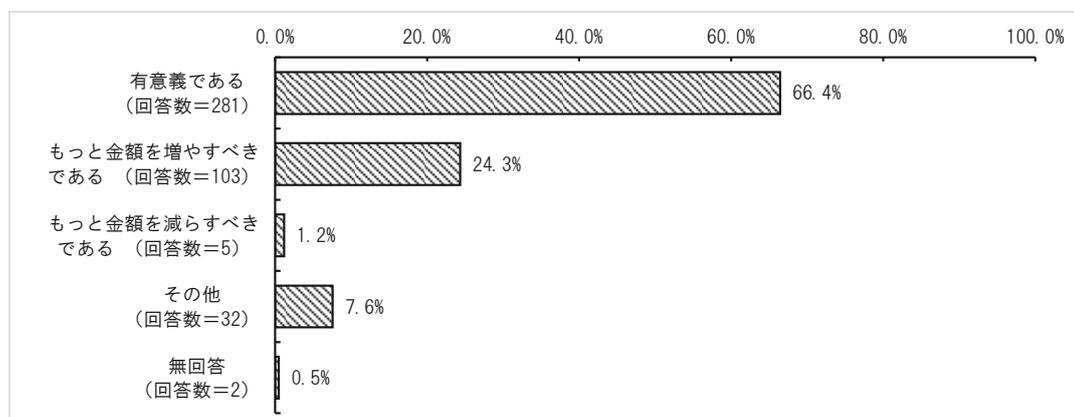
町では、医療福祉費助成事業（マル福制度）の中で、八千代町独自事業として中学1年生から高校3年生までの通院分の医療費を助成しています。この制度について、どう思いますか。

- 『マル福制度における八千代町独自の医療費助成事業』については、81.3%の人が有意義であると感じていますが、もっと拡大すべきであると感じている人が15.1%となっています。
- その他の記載では「親の所得による制限をなくしてほしい」、「入院分も助成してほしい」、「多子世帯には助成の拡充をしてほしい」等の要望があげられています。



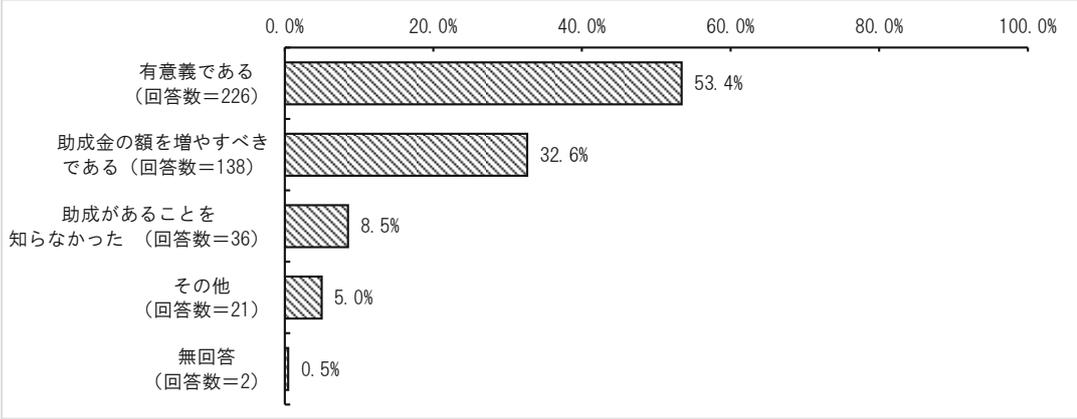
町では、出産子育て奨励金支給事業として、第3子以上の児童を出産された方に対して30万円、第2子の児童を出産された方に対して20万円を支給しています。この制度について、どう思いますか。

- 『出産子育て奨励金支給事業』については、66.4%の人が「有意義である」と感じていますが、「もっと金額を増やすべきである」と感じている人が24.3%となっています。
- その他の記載では「子どものためにしか使えないお金として支給してほしい」、「第1子から支給してほしい」等の意見があげられています。



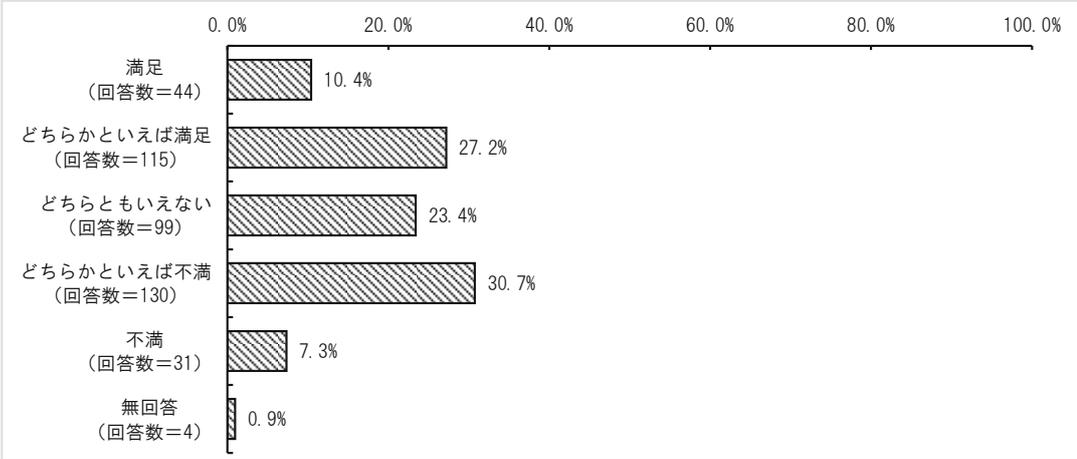
町では、1歳～15歳のお子さんがインフルエンザの予防接種を受けた場合、1回につき2,000円の助成を行っています。制度についてどう思いますか。

- 『子どものインフルエンザの予防接種への助成事業』については、53.4%の人が「有意義である」と感じていますが、「助成金を増やすべきである」と感じている人が32.6%となっています。
- その他の記載では、「学校で集団接種を行うなど小学生以下は無償にしてほしい」、「任意受診の予防接種等にも助成してほしい」、「対象を高校3年生まで拡大してほしい」等の要望があげられています。



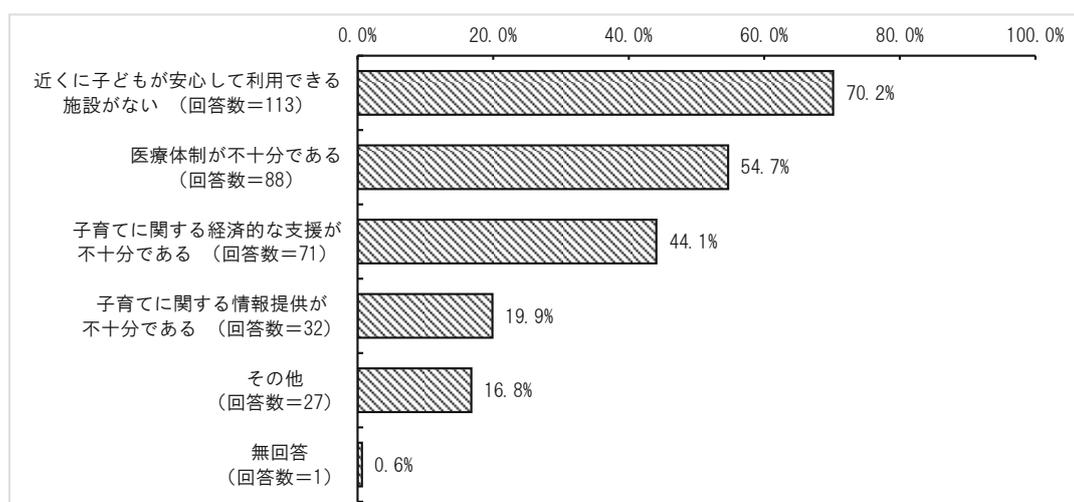
八千代町の子育て環境や子育て支援に対する満足度をお答えください。

- 『本町における子育て環境や子育て支援に対する満足度』については、「満足」「どちらかといえば満足」であると感じている人が約4割(37.6%)となっていますが、「不満」「どちらかといえば不満」であると感じている人も約4割(38.0%)となっています。
- ⇒「不満」と感じている人のニーズを把握しながら子育て支援の充実を図り、安心して子育てができる環境を整えていくことが求められています。



八千代町の子育て環境や子育て支援に対する満足度において、「どちらかといえば不満」または「不満」に○をつけた方にお聞きします。どのような点に不満を感じていますか。（複数回答可）

- 『本町における子育て環境や子育て支援で不満と感じる主な理由』については、「近くに子どもが安心して利用できる施設がない」が70.2%で最も高く、次いで「医療体制が不十分である」が54.7%、「子育てに関する経済的な支援が不十分である」が44.1%の順となっています。
- その他の記載では、「保育料が高い」、「町内公共施設に授乳室等の整備が不十分」等の意見があげられています。

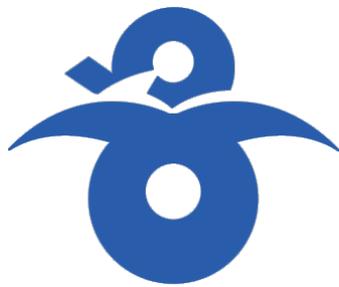


今後、八千代町にどのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。ご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

- 保育費、給食費、学童費などに対する助成制度の拡充。
- 遊び、医療、施設、団体など近隣の市に行くことが多いので、町内での充実や近隣自治体との連携などをしてほしい。
- 未就園児の保護者同士が交流できる機会が増えると良い。
- 公共施設であまり使用されていない場所を子どもの遊び場などに提供してほしい。
- 通学路等で狭く暗い場所があるので、子どもだけで歩かせたりするのが不安。道路の拡幅やガードレール、街路灯を設置してほしい。
- 産婦人科や小児科等医療の充実。
- 発達が不安な子どもに対する取り組みを充実してほしい。
- 語学教育の点から、町内にいる外国人との交流機会を作してほしい。

八千代町都市計画マスタープラン [改定版]

発行 八千代町 産業建設部 都市建設課
〒300-3592 茨城県結城郡八千代町大字菅谷1170
T E L 0296-49-3945
F A X 0296-48-3001
E-mail token3@town.ibaraki-yachiyo.ig.jp
発行日 令和3年3月



20年後の未来を描く

八千代町都市計画マスタープラン[改訂版]

八千代町 産業建設部 都市建設課

〒300-3592 茨城県結城郡八千代町大字菅谷1170

T E L 0296-49-3945

F A X 0296-48-3001

E-mail token3@town.ibaraki-yachiyo.lg.jp